

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	臨床看護技術Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時間	前期	教室名	各教室
担 当 教 員	入澤 与子	実務経験と その関連資格	総合病院にて外科・救急病棟に看護師として勤務			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>主要症状に対して、人間の解剖生理学的メカニズムを理解し、対象の症状を改善するために必要な援助の方法を習得する。また、医療機器使用時の援助方法を学ぶ。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>筆記試験(90%)、授業態度・課題(10%)で評価する。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅰ 臨床看護学総論 基礎看護学4 医学書院 系統看護学講座 専門分野3 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護技術がみえる2 臨床看護技術 メディックメディア フィジカルアセスメントがみえる メディックメディア</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>1. 各授業において、予習・復習は45分以上の授業外学習を行ってください。 2. 既習の科目の解剖学、生理学、病態治療論で学習した知識・技術を活用し、学習した内容をふまえて予習を行い、事前学習をしてから演習に臨んでください。演習後は、内容について振り返りを復習をしてください。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>事前の課題学習は、授業内容を理解する上で必要となります。提示された事前の課題学習は、期限を守り提出してください。演習では、個人で学習準備をした上で、教科書や授業ノート・参考資料等を持参し、積極的に演習に参加してください。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸障害のある患者のアセスメントの視点が説明できる。	教科書 看護技術がみえる 2 臨床看護技術 AV機器	指定した教科書を事前に読んでおくこと。	
		各コマにおける授業予定	呼吸障害のある患者の看護、アセスメント、DVD視聴			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸障害のある患者への援助の方法とその根拠が説明できる。	教科書 看護技術がみえる 2 臨床看護技術 AV機器	指定した教科書を事前に読んでおくこと。(吸入・吸引)	
		各コマにおける授業予定	呼吸障害のある患者の看護、DVD(体位ドレナージ、スクイーピング、吸入、吸引)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸障害のある患者への援助が説明できる。	教科書 看護技術がみえる 2 臨床看護技術 AV機器	酸素療法をうける患者の看護をまとめておく。	
		各コマにおける授業予定	呼吸障害のある患者への援助			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環障害を持つ患者の看護、循環の生理的メカニズムを理解し、アセスメントの視点が説明できる。	教科書 AV機器 その他	指定した教科書を事前に読んでおくこと。	
		各コマにおける授業予定	循環障害を持つ患者の看護、循環の生理的メカニズム、アセスメント			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環障害を持つ患者への援助の方法とその根拠が説明できる。	教科書 AV機器 その他	指定した教科書を事前に読んでおくこと。	
		各コマにおける授業予定	循環障害を楽にする方法の選択			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環障害を持つ患者の看護が説明できる。	教科書 AV機器 その他	指定した教科書を事前に読んでおくこと。心電図の看護技術ノートを作成する。
		各コマにおける授業予定	循環障害を持つ患者の看護		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養・代謝障害の症状とメカニズムを理解し、ニーズ充足に向けた看護援助が説明できる。	教科書 AV機器 その他	指定した教科書を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	栄養や代謝に関連する症状を示す、メカニズム、アセスメント		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	排泄機能障害の症状を示す患者の看護とその症状のメカニズムが説明できる。	教科書 AV機器 その他	指定した教科書を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	排泄機能障害の症状を示す対象者への看護、排泄機能障害に関連する症状のメカニズム		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化・排泄障害のある患者の看護が説明できる。	教科書 AV機器 その他	指定した教科書を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	排泄機能障害に関連するニーズ充足に向けた看護援助		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	意識障害のある患者の看護が説明できる。	教科書 フィジカルアセスメントがみえる	指定した教科書を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	意識障害のある患者の看護		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知や知覚に関連する症状を示す対象者への看護を説明できる。	教科書 フィジカルアセスメントがみえる	意識レベル、認知機能のスクリーニングツールを復習しておく。
		各コマにおける授業予定	認知や知覚に関連する症状を示す対象者への看護		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	痛みのある患者への安楽に向けた援助が説明できる。	教科書 フィジカルアセスメントがみえる	痛みのアセスメントを復習しておく。
		各コマにおける授業予定	安楽に関連する症状を示す対象者への看護(痛みと嘔吐)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	ME機器の使用にあたっての基本原則が説明できる。	教科書 看護技術がみえる 2 臨床看護技術	予習として吸入・吸引の看護技術ノートの作成をする。
		各コマにおける授業予定	医療機器使用時の看護、演習準備事前学習「吸引」		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	吸引、酸素吸入、心電図を患者に実施できる。	吸引器、心電図計、酸素ポンプ、酸素流量計などの医療機器	予習;解剖学、生理学、で学習した内容を復習し、内容に該当する部分のノートやプリントをよく読んで、演習に臨む。
		各コマにおける授業予定	吸引、酸素吸入、心電図		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	吸引、酸素吸入、心電図を患者に実施できる。	吸引器、心電図計、酸素ポンプ、酸素流量計などの医療機器	予習;解剖学、生理学、で学習した内容を復習し、内容に該当する部分のノートやプリントをよく読んで、演習に臨む。
		各コマにおける授業予定	吸引、酸素吸入、心電図、まとめ		